

一般質問



育児休業中の在園児の 継続利用進めたい



日本共産党湖南省議員団 ● 立入 善治 議員

問 ワクチン接種は現時点での対応策としては有効。陽性者の拡散防止のためにPCR検査の実施は。

答 PCR検査の他に、発熱時には抗原検査を実施する医療機関も増え保険適用による検査も増えていきます。

問 PCR検査の実施している医療機関に、検査費用の補助をする考えはないか。

答 保健所から連絡がなければ検査の必要はない状態。検査への補助は考えていません。

問 育児休業中における在園児の継続利用が湖南省では、出産後6か月間となっている。一番手がかかり、目の放せない乳幼児を同時に見なくてはならないのは大変。最低でも1年間の継続利用を。

答 3歳児以下の園児は約6か月、5歳児、

4歳児については、就学を控えていることから在園を認めています。それぞれ個別の事例で判断しています。2歳児を抱え乳児の子育ては大変だと理解しています。期間の延長については、市民の声を受け止め、制度の検討を進めていきます。

問 「平松のウツクシマツ自生地 保全活用計画」案の承認について文化庁の対応は。

答 月1回の文化財保護審議会の分科会で計画が審査されています。

問 コロナ禍で生活苦の家族が増えている。ポーターラインの家庭の対応は。

答 湖南省の生活保護受給数はここ数年ほぼ横ばいです。生活困窮での相談は、社会保障の他の法、他政策の活用や就労助言を行っています。



コロナ感染で自宅療養は 本当に大丈夫なのか



日本共産党湖南省議員団 ● 松井 けい子 議員

新型コロナウイルス感染症関連

問 自宅療養者が増加した場合の支援対策は。

答 保健所職員が訪問看護師が毎日電話で健康観察を行っています。感染者や濃厚接触者の情報は県が保有。県の支援対応が困難になれば協議して、市も支援方法を検討します。

問 新型コロナウイルス接種とインフルエンザ予防接種の接種体制や助成については。

答 国や県からまだ情報が入ってこないもので、何も決まっていません。

水害や土砂崩れ等の災害防止について

問 市内の大規模造成地34か所で土砂災害のおそれはないのか。

答 多くは、築造後50年余り、今までに2か所で法面が崩壊したが、人的被害や大きな土砂災害が発生する兆候の

場所はありません。

問 避難指示が発令されたが状況は。

答 土砂災害警戒情報が発表され、時間雨量が40ミリ以上の上昇により、河川の氾濫や道路冠水の被害情報が多数寄せられ、避難指示を全域に発令した。

登下校の負担軽減「置き勉」の取り組みは。

答 必要最低限の携行品の持ち帰りを再度、小・中学校へ啓発し、各校の実態に合った取り組みを推進します。

小・中学校のトイレに生理用品の配置を

答 生理用品を置くスペース、衛生面で管理が難しい。

問 トイレトペーパーと同様に、必需品としてトイレに常備が必要ではないか。

答 予算の優先順位を見極め、教育現場の環境改善に努めます。